

兼城相互団地の擁壁決壊  
防止対策を求める

兼城相互団地は昭和63年に土砂崩れが発生し、土砂が住宅に流れ込む大災害が起こりました。その後も土砂が滑落する事故が起きています。

さらには擁壁に亀裂が入り、今なお進行しているように思われます。

大雨のたびに、擁壁が崩れ落ちはしないかと、住民は不安な毎日を過ごしています。

兼城相互団地は地すべり等防止法に基づき、沖縄県の「地すべり防止区域」に指定されています。

町民の安心・安全な生活環境を守る観点から要請します。

1. 現状を徹底調査し、結果のすべての情報を開示すること。  
2. 抜本的な地すべり対策工事を講ずること。

提出者 知念 富信  
あて先 県知事・県議会議長



知事部局で対応した土木建築部長は前向きに調査や対策を講じたいと回答。

要請

県・県議会へ10月24日要請を行いました。

歪み計などによる調査を行う。平成26年に要請のあった兼平団地のときと同じように対応したい。

回答  
(土木建築部長)

交通事故防止対策と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言

南風原町議会は、飲酒運転根絶運動と交通事故防止に対する取組を一層支援するとともに、飲酒運転根絶をさらに推進することを宣言する。

協定締結

与那原警察署と「飲酒運転根絶に向けた協働行動に関する覚書」を10月17日に交わしました。「飲酒運転をしない・させない・許さない」安全で安心な社会環境の実現を図ります。



与那原署と協働行動を締結の1市2町議会

情一致で  
陳全会採択

審査の結果、  
要望の趣旨は  
妥当(採択)

地元産品・企業の優先使用を

地元産品の需要拡大を図り、町内・県内企業の育成強化と雇用拡大を促進を図ること。

公共工事の際は事業用自動車(緑ナンバー)の使用を

町が公共工事を実施する際、契約書の仕様書等に「緑ナンバー使用」を明記すること。また、受注事業者に白ナンバーによる有償運送行為を排除するよう指導すること。

改正農業委員会法に係る条例対応の要請

農業委員の選出方法が議会の同意を得て、町長の任命制となる。農業委員、農地利用最適化推進委員の定数など改正基準を町条例に盛り込む際の配慮・支援を要請する。